

学 会 記 事

【第13回総会】(2020年6月15日～2020年6月21日, 電子メール審議)

I. 2019年度会務報告について

会員数(2020年5月28日現在, 375名), 第12回大会の開催, 第27～28回例会の開催, 機関誌「地理空間」第12巻1～3号の刊行, 「地理空間」掲載論文のJ-Stage掲載, ニュースレター(第33号)の発行, ホームページおよびメーリングリスト(jags-ml)の運営, 日本学術会議協力学術研究団体の認定(2013年9月24日), および2019年度学会賞について報告があり, 意義なく承認された。

[地理空間学会学会賞]

奨励賞: 秋山 祐樹

受賞対象:

Akiyama, Y., Yamamoto, Y., Shibasaki, R. and Kaneda, H., A Detailed Method to Estimate Inter-regional Capital Flows Using Inter-firm Transaction and Person Flow Big Data. *Asia-Pacific Journal of Regional Science*, 1-21, 2019-08. (Online First)

秋山祐樹「マイクロジオデータを用いた日本全国の家賃形成メカニズムの研究－住環境と住宅の市場価値の意外な関係性－」*環境科学会誌*, 32(2), 53-64, 2019-03.

秋山祐樹「マイクロジオデータを用いた日本全国の商業集積地域の分布把握」*E-journal GEO*, 13(1), 109-126, 2018-04. ほか

奨励賞: 矢ヶ崎 太洋

受賞対象:

矢ヶ崎太洋「東日本大震災後の人口減少と地域社会の再編－宮城県気仙沼市浦島地区の津波災害とレジリエンス－」*人文地理*, 71, 371-392, 2019-12.

矢ヶ崎太洋「津波災害に対する地域社会のレジリエンス－宮城県気仙沼市舞根地区における東日本大震災と防災集団移転を事例に－」*地学雑誌*, 126, 533-556, 2017-10. ほか

II. 2019年度決算報告・監査報告について

2019年度の一般会計および特別会計の決算案が提示され, またその収支について田林 明会計監査, 淡野明彦会計監査より監査報告書が提示され, 異議なく承認された。

III. 2020年度事業計画について

2020年度事業計画について, 「地理空間」第13巻1～3号の刊行, 第13回大会の開催(2020年秋以降の開催を視野に計画), 第14回大会の開催計画(2020年 場所未定), 例会の開催, 学会賞や若手研究者助成による研究奨励, ニュースレターの発行(発表要旨特別号の発行を含む), ホームページとメーリングリストの管理・運営が提案され, 異議なく承認された。

Ⅳ. 2020年度予算案について

2020年度予算案が提示され、異議なく承認された。

Ⅴ. 役員・専門委員会の構成について

役員および専門委員会（2020年7月1日～2022年6月30日）の構成員について提案がなされ、異議なく承認された。

2020～2021年度役員（2020年7月1日～2022年6月30日）

会 長：高橋重雄（青山学院大）

会 計 監 査：村山祐司（筑波大名誉），山下清海（立正大）

常 任 委 員：松井圭介（常任委員長，筑波大），呉羽正昭（庶務委員長，筑波大），山下亜紀郎（会計委員長，筑波大），森本健弘（集会委員長，筑波大），堤 純（編集委員長，筑波大）

評 議 員：秋山千亜紀（筑波大），池田真利子（筑波大），井田仁康（筑波大），伊藤徹哉（立正大），大島規江（茨城大），岡村 治（立正大），加賀美雅弘（東京学芸大），兼子 純（愛媛大），川瀬正樹（広島修道大），久保倫子（筑波大），呉羽正昭（筑波大），小林岳人（千葉高），篠原秀一（秋田大），杉本興運（東洋大），須山 聡（駒澤大），堤 純（筑波大），中西僚太郎（筑波大），中村周作（宮崎大），中村理恵（高崎女高），仁平尊明（北海道大），根田克彦（奈良教育大），平井 誠（神奈川大），藤永 豪（西南学院大），松井圭介（筑波大），丸山浩明（立教大），三木一彦（文教大），森本健弘（筑波大），山下亜紀郎（筑波大），山下宗利（佐賀大），吉田道代（和歌山大），若本啓子（宇都宮大） 31名

〈専門委員会〉

庶務委員会：呉羽正昭（委員長），秋山千亜紀（副委員長），佐藤大輔，鈴木修斗，中川紗智，橋爪孝介，吉沢直

会計委員会：山下亜紀郎（委員長），久保倫子（副委員長），麻生紘平，薄井 晴，栗林 慶

集会委員会：森本健弘（委員長），遠藤貴美子，川添 航，小林飛文，坂本優紀，佐野浩彬，竹原繭子，矢ヶ崎太洋

編集委員会：堤 純（委員長），須山 聡（副委員長），橋本暁子（副委員長），飯塚 遼，井口 梓，石井久生，磯野 巧，伊藤徹哉，大石貴之，片岡博美，久木元美琴，小島大輔，佐藤大祐，田中耕市，淡野寧彦，仁平尊明，橋本 操，林 琢也，平井 誠，福本 拓，藤田和史，本多広樹，山本健太，吉田道代

（書記）：石井久美子，岩井優祈，橋詰あゆみ，松原咲樹

学会賞選考委員会：（※2020年7月1日～2021年6月30日，1年間）

井田仁康（委員長），岩間信之，中村周作，仁平尊明，横山 智

Ⅵ. その他

なし。

以上で総会は終了した。

【大会報告】

第13回（2020年12月6日，Zoom オンライン開催，出席者82名）

・一般口頭発表

- 狩野仁慈・小原悠太（筑波大・院）：長野県上田市塩田地域におけるため池の維持管理と存続
 薄井 晴・潘 星形（筑波大・院）・呉羽正昭（筑波大）：上田市上室賀地区における各種サービスの供給と高齢者の食料品調達行動
 小林飛文・押見隆弘・Zhao Jun・潘 毅・潘 妍（筑波大・院）：上田市におけるロケ受入の存立基盤
 張 紅・呉 玉婷・張 鈴希・馬 詩維・李 鑫（筑波大・院）：長野県上田市柳町における歴史的街並みの再生メカニズム－住民の役割に着目して－
 清水克志（秀明大）：近代日本における外来果樹の普及
 吉村 風（国立国会図書館）・安井万奈（早稲田大）・中里亮平（長野大）：酒蔵を活用した巡検講義の可能性
 杜 国慶（立教大）：ヴェローナにおける観光投稿の異同

・シンポジウム「地域活性化におけるエスニック資源の活用」

- 山下清海（立正大）：「地域活性化におけるエスニック資源の活用」企画趣旨説明
 矢ヶ崎典隆（日本大）：ロサンゼルス大都市圏におけるエスニックタウンとエスニック資源の活用
 大石太郎（関西学院大）：カナダにおける国指定史跡とエスニック集団の歴史的遺産を活用した地域活性化の試み－沿海諸州のフランス語系少数集団アカディアンの事例－
 根田克彦（奈良教育大）：ロンドン，タワーハムレッツ・ロンドン特別区におけるタウンセンター政策とエスニック資源の活用－ブリックレーン・ディストリクトセンターの事例－
 石井久生（共立女子大）：祝祭におけるエスニック資源の活用－スペイン・ドゥランゴにおけるバスク・ブックフェアの事例－
 加賀美雅弘（東京学芸大）：オーストリアにおけるロマのエスニック資源活用の可能性
 福本 拓（南山大）：韓流ブームに伴うコリアタウンの変容と地域活性化への課題
 山下清海（立正大）：日本におけるチャイナタウンからみるエスニック資源の活用とその課題

・ポスター発表

- 岩井優祈（筑波大・院）：GISを援用した人文主義地理学的な「場所」を対象とした時空間分析の可能性
 山下書子（筑波大・院）：集合的記憶とアート－先行研究の整理と展望－

宇野広樹（筑波大・院）：出店戦略からみるビジネスホテルチェーンの全国展開
 伊藤渚生（MS & AD インターリスク総研）：地域直売所の情報提供システムの構築
 石井久美子（筑波大・院）：EU における航空流動の空間的パターンとその変化について

・巡検

新型コロナウイルス感染拡大のため中止。

【地理空間学会会則】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL： <http://jags.ne.jp/>

【編集委員会からのお知らせ】

2020年4月～2020年9月：未受理原稿および左記期間に投稿された5本の原稿について閲読結果をもとに検討した結果、「地理資料」4編を受理した。

【編集委員会からの J-Stage 公開のお知らせ】

機関誌『地理空間』の Web 上での公開方法が変更になりました。「論説」や「リサーチ・ペーパー」などの論文はすべて J-Stage 上 (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jags/-char/ja>) で公開することになりました。なお、次号の掲載までの「最新号」については、各論文の要旨のみ地理空間学会ホームページ上 (<http://jags.ne.jp/>) で公開し、最新号の刊行と同時に、前号の全文を J-Stage 上で公開いたします。なお、書評や学会記事、例会要旨などについては、引き続き、本学会ホームページ上でのみ公開いたします。

【次号以降の投稿について】

第14巻1号は、2021年6月20日の発行を予定しております。第14巻1号の原稿については随時受け付けておりますが、第14巻1号に掲載されるには、2021年3月末までに受理が出ている必要があります。内容は最新の論争から時事性、トピック性の高いテーマ、丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。

本学会の活動を幅広く認知してもらうために、会員の皆様の大学研究室や大学・高校の図書館におきまして、会誌『地理空間』の定期購読を是非ご検討のほどお願いいたします。ご購入いただける場合には、編集委員会 (geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp) までお知らせください。

【オンライン版（電子版）の3号の刊行について】

2016年度総会において、現行の年2号の紙媒体での印刷・発行に加え、オンライン版（電子版）の3号（年度末発行）を新たに発行することが決まり、すでに9巻3号（2017年3月）、10巻3号（2018年3月）、11巻3号（2019年3月）、12巻3号（2020年3月）を刊行しました (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jags/-char/ja>)。現在、13巻3号を編集中です。オンライン版（電子版）の3号の概要は以下の通りです。

- ・シンポジウム報告を含む特集論文は、各巻3号に掲載する。
- ・特集論文の企画代表者は学会員に限る。ただし、各論文の著者については、会員か非会員かは問わない。
- ・特集論文の企画は、毎年度9月末日までに企画代表者が事務局（編集委員会）へ申し出る。
- ・企画代表者は、編集委員会にゲストエディターとして加わり、当該特集論文の査読・編集に携わる。
- ・特集論文の掲載・発行にかかる実費相当額（2,000円程度／頁）は、企画代表者（または論文の著者）が負担する。
- ・各巻3号は、発行後速やかにJ-Stage 上 (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jags/-char/ja>) で公開する。紙媒体の1, 2号は、これまで発行から半年後に学会 HP で公開していたが、これを変更し次号発行時に学会 HP で公開する。すなわち、各巻1号は2号発行時、2号は3号発行時に学会 HP で公開する。
- ・3号の印刷物（有償）を希望する会員は、個別に事務局へ相談する。

【投稿規程 & 執筆要項】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL : <http://jags.ne.jp/>

【新入会員】（2020年5月15日から2020年12月1日）

宇野広樹（筑波大・院）

洪 珺（筑波大・院）

付 凱林（筑波大・院）

山下書子（筑波大・院）

（会員数：378名，2020年12月1日現在）